

二〇一六年八月二十八日（二〇一七年三月改稿版）

# 神（ではない）の子（ではない）

初演 二〇一六年八月三十日

亜人間都市 黒木洋平

@ahningentoshi

Mail: ahningentoshi@gmail.com

亜人間都市『神（ではない）の子（ではない）』

そこはごうも劇場の舞台の上であるか、もしくは  
それに類した演劇を行うことのできる場所である  
ように見える。二人の女がいる。女2が女1に話  
しかける。

女2 ああ

女2 ああ

いつ始まるんですかこれ

いつまで待てばいいんですか

女1 ごめんなさい

女2 ごめんなさい ていうかえ なんて謝んの

え 早く始めて欲しいんですけど

女2 なんなの 帰ってもいいですか

女1 や ちょっと 帰らないでください

女2 えじゃあ 早くして

あるんでしょ 話

女1 話 その

女1 ごめんなさい

女2 ごめんなさい ていうかえ なんでの

女2 え なんなの話

え ないの話

女1 や ありますけど や その

急に お呼び立て？ ていうか

呼び出しちゃって なんか

女2 え いまさら？ いいからそういうの

始めて 欲しいんだけど え なんなの

女1 や はい 話 まり子ちゃん のことで

女2 まり子

まり子が なに

女1 聞きたいこと あって まり子ちゃん

女2 なに まり子 どうかした

女1 なんですか

女2 は

女1 なんですか まり子ちゃん

なんでなんですか

---

|             |                      |               |                    |                   |                                                               |                                           |                                                                    |                   |                                                     |
|-------------|----------------------|---------------|--------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------------------------------------------------|
| 女<br>1      | 女<br>2               | 女<br>1        | 女<br>2             | 女<br>1            |                                                               | 女<br>2                                    |                                                                    | 女<br>1            | 女<br>2                                              |
| あ<br>ごめんなさい | は<br>なんなの<br>はつきりしてよ | え<br>はい<br>その | まり子<br>は<br>来るんでしょ | や<br>その<br>ごめんなさい | 答<br>え<br>ら<br>ん<br>な<br>い<br>じ<br>ゃ<br>ん<br>な<br>ん<br>な<br>の | は<br>え<br>意<br>味<br>わ<br>か<br>ん<br>な<br>い | で<br>も<br>な<br>ん<br>で<br>な<br>の<br>か<br>ま<br>り<br>子<br>ち<br>ゃ<br>ん | や<br>その<br>ごめんなさい | は<br>え<br>意<br>味<br>わ<br>か<br>ん<br>な<br>い<br>な<br>に |

男1が現れる。

男1

ごめんね お待たせ

なんか 会うの久々？

全然会ってないよね最近

機会なかったもんね最近ね

最近ね バイト三昧

こんな俺でもついに副店長

いわゆる責任者

だから責任をね ニンニン してるからいま

つまり乗っちゃってるから調子

ていうかあれ なんか話してた？

女1

や 大丈夫 別に まだ

ていうかごめん ありがとう

男1

え や 大丈夫

普通に来ただけだし

ていうか え なに？ 話

女 1 あ 話 そう あの

まり子ちゃんのこと

男 1 え まり子 どうしたの

女 1 え もしかして知らない？ まり子ちゃんのこと

男 1 え なに まり子どしたの

女 1 え そうなんだ え

男 1 え なんなの まり子どうしたの

女 1 え いや

男 1 え なに

女 1 や

男 1 え

女 1 その

男 1 うん？

女 1 えっと

男 1 おっと

男 2 あ 喋っていいですか

男 3 は現れている。

---

|              |                  |                    |                 |         |                    |           |                 |              |      |                    |        |       |                     |
|--------------|------------------|--------------------|-----------------|---------|--------------------|-----------|-----------------|--------------|------|--------------------|--------|-------|---------------------|
| 女<br>1       | 男<br>1           | 男<br>2             |                 | 男<br>1  | 男<br>2             | 男<br>1    |                 | 男<br>2       |      | 男<br>1             | 男<br>2 |       | 男<br>1              |
| まり子ちゃん 妊娠してて | え ていうかごめん どういうこと | え 普通にご飯食べて いろいろ話して | その後どうしたんですか ていう | え それがなに | あ その日 見た見たなんかアメコミの | 映画 見たんですよ | え じゃあ会ってる と思うけど | ていうか 会ってますよね | え なに | 三週間 会ったと思うけど 分かんない | 三週間 前  | え 三週間 | 三週間前 て まり子さんと会いましたか |
|              |                  |                    |                 |         |                    |           |                 |              |      |                    |        |       | ていうかごめん 誰           |
|              |                  |                    |                 |         |                    |           |                 |              |      |                    |        |       | え どうぞ               |

女1や女2たちの背後では、男3が暗躍している。

男3

大友まり子の話 センセーショナルでして

馬鹿馬鹿しい話ほど ネタにされますけど

ていうか人間 みんな馬鹿馬鹿しいですけど

僕もね 知りたいんですよ

馬鹿馬鹿 知りたい 大友まり子

このお芝居 笑えるお芝居なんで

笑っちゃっていいですよ 全然ね

楽しんでいきましょうね

男1

え ごめんどうということ

え 妊娠ってあの妊娠？

え 聞いてないし それ てマジで？

男2

おめでとう ですよね普通

男1

え なに

男2 おめでとうとかおめでた

て言うじゃないですか 妊娠したら

普通でくるんじゃないかな 言葉 そういつ

男1 え そうかも

え でも本人いないし 言わくないわざわざ

ていうかえ ごめん 誰

男2 話 戻すけど

三週間前 会ったんですよね まり子ちゃんと

男1 え うん

え うん？ ていうか え

それって え そういうこと それ

え 俺の子 みたいな話それ

え そういう話 そういう話 なの それ

女1 や そういう話 ていうか

男2 や そういう話 なんだよね

やっただんしょ まり子ちゃんと

女1 や え ちょっと待って

男1 や え ちょっと待ってよ

男2 ヤ たんでしょ て聞いているの

できちゃってるけど子供 (女1に) ね

男1 は え ちょっと待って

え それ聞きに來たの？

え ていうかごめん お前誰

男2 や この子の彼氏

男1 あ マジで

ていうか え いやなんで

知り合い でもないでしょまり子の

お前 関係なくね

男2 いやいや 関係ないけどさ

ほら この子引っ込み思案 ていうか内気

ていうかなんていうの 言えないじゃん思ってること

「だから来て」 て僕頼まれて

だから来て ほら代弁者のな

この子の代わりに話 してあげてる的な

思ってること 考えてること この子の代わり

(女1に) ね

女1 や うん そうなんだけど

男1 あ マジで

男2 うん だから聞きたいらしくて

お前 まりちゃんとやったんだろ て

(女1に) ね

女1 うん

ごめんね 違う

男2 なにが？

女1 そういうこと 言いたいわけじゃない

男2 あ マジで

女1 うん

や 違うないんだけど 違う ていうか

正しいけど そうじゃない ていうか

なんだろ うまく言えないけど なんか

男2 うん まあとりあえずさ

やっちゃったのかどうか

それは知りたいよね (女1に) ね

そのところはさ どうなの

やったんだよね まりちゃんと (女1に) ね

男1 あのさ 俺やってないよ

男2 お 否定した

女1      その日のことさ

聞かせてくれない？

男1      え うん

え でもなにもないよ やってないよ

映画 見て

夜ご飯 食べて

色々 話して

ていう

女1      それだけ？

男1      それだけ ていうか

それだけ ていうか

それだけ ではないけども

男1      あのね 聞いて聞いてね やってないからね

でもご飯 お酒も飲んだから一緒に

まり子      すごい酔っちゃって

まり子      完全に潰れてちゃって

だから 仕方ないから連れて帰って

女1      どこに？

男1      俺んち 近かったから 二駅だったから

やってないからねでも

普通にまり子寝かして 俺も寝て で終わり

俺ちゃんとソファで寝たし

---

男  
1

あ で朝になって俺先起きて

でなんか前に買ったパン なんか羽生えちゃってて

飛んでたから捕まえて それで朝食

あとは別に何もなかったからその日 だらだらしてて

昼前にまり子起きて

残ってたパン出したらパン食ってまり子

普通に昼には出てった

女2 や 行ったんでしょその夜

男2 や やってるよ絶対

男1 や やってないって

(女2に) ていうか君誰 ずっといたの

え ごめん どなた？

女2 彼女 ですけど

男1 え 誰の

女2 あ まり子の

男1 え まり子の

え マジで

女2 あ ごめん嘘

嘘 ていうか元

元 まり子の彼女

もう別れたし 関係ないけど

男1 え マジで お マジで

女2 あ 知らなかったの

女1 知らないと思う皆 私くらい て聞してる

女2 あ そうなの でもいいよね別に 関係ないし

男1 え マジか お マジか

女2 なに なにか文句あるの

男1 え いや別に

女2 あんでしょなんか 言えばいいじゃんハッキリ

男2 なんか レズの人って性格

悪いイメージありますよね

女2 は なにそれ

ていうかあんた誰

男2 あ そのくだり終わりましたんで

女2 いや あたし聞いてないし

男2 あー まあ普通に この子の彼氏です

女2 彼氏がなんでいんの

男2 や だからそういう風に 高圧的 に来られると

話 しづらくないですか これ大事な話なのに

レズの人 そういうとこありますよね

一般的レズの人 なんかそういう

女2 は なんなのそれ 差別？

男2 これね 差別じゃなくて偏見 ていうんですよ

男1 ていうか え どのみちなんなの

俺は関係ない てマジで

あれならまり子と話すから

関係ないじゃんお前とか

男2 お それで逃げるの君

お セックスしたんでしょ君

お とこは責任あるんだから

負 てるよ責任 責任者でしょ

お ニンニンしたんでしょまり子ちゃん

男1 や だからしてないし

責任者 関係ないし

男2 いやいやするでしょ その流れ

お持ち帰り しちゃったら

エッチスケッチするでしょ流れで

男1 いやいやしないししてないし

ていうか俺にどうしろと

悪魔の証明 じゃん無理じゃん

じゃあ お前は お前だろ

て言われて証明 できるのかよ

自分じゃないの証明 できるのかよ

するんだろ お前もセックス普通に

や それはさ

や しないから 私たち できないから

や いいよ

や ううん しないの

男 1 え ごめん

え なんで なんで ていうか

女 1 試したことあるけど この人と 初彼だし 一応

でもこの人の 長くて 長すぎて 元は普通なんだけど

でもこの人 そうなると どんどん大っきくなってって

すごい長い 三メートル？

三メートルは伸びる ていう個性

だからエッチ できなくて普通に

普通とかごめん わからないけど

だから私たち プラトニックラブ

プラトニック ていうか

結果的プラトニック ていうか

|                   |             |                |                  |              |         |                      |                  |              |         |          |              |             |              |
|-------------------|-------------|----------------|------------------|--------------|---------|----------------------|------------------|--------------|---------|----------|--------------|-------------|--------------|
| 女<br>2            | 女<br>1      |                | 女<br>2           | 女<br>1       | 女<br>2  |                      | 女<br>1           | 女<br>2       | 女<br>1  |          | 女<br>2       | 男<br>2      | 男<br>1       |
| ねえ　もう来ないんじゃないの　ねえ | や　呼んだんでちゃんと | ねえ　ていうか　本当に来んの | シャキツとしろよ　馬鹿　ていうか | なんでそんな謝ってばっか | いや　だからさ | や　ちょっとわかんないです　ごめんなさい | は　なにそれ　どんぐらい遅れんの | まだかな　遅れるみたいで | あ　うん　あと | いつ来るのまり子 | あ　ごめん　ごめんなさい | 帰っていい？　私もう  | え　ごめん　なんの話？  |
|                   |             |                |                  |              |         |                      |                  |              |         |          |              | え　ごめん　逆にごめん | え　ごめん　それはごめん |

---

|    |                        |
|----|------------------------|
| 女1 | や ホント 遅れる て            |
| 女2 | 寄るところがあるから て           |
|    | 嘘でしょ どうせ 言い訳でしょ 顔見せれない |
|    | どいつもこいつも言い訳ばっか         |
|    | 浮気したなら 言えばいいだる正直に      |
| 男1 | 俺 してない てなにも            |
| 女2 | どうでもいいからあんたは           |
|    | まり子の話だからこれ             |
| 男1 | や じゃあなんだよ俺は            |
|    | ていうかまり子は なんて言ってるんだから   |
| 女1 | なんて ていうかだから            |
| 女2 | ホント 知らないんだね何も          |
| 男1 | 知らない て言ってるじゃん          |
| 女2 | やってない てさ まり子           |
|    | 勝手にできた てさ まり子          |
|    | これ 笑えるでしょ              |
|    | ありえないでしょ て言っただのそしたら    |
|    | 処女懐胎 したんだ てさ まり子       |

男3は暗躍を続けている。

男3

現実とフィクション どっちがすごい みたいな

ありますけど話 どっちだと思いますか

僕はどっちでもないんですけどね

ていうか 現実のどこまでが現実なの ていうね

わかんないですよね 現実 フィクション

そろそろ分かったと思いますけどこのお芝居

めちゃくちゃ真面目なお芝居なんで

絶対笑わないでくださいね 絶対にね うん

楽しんでいきましょうね

男1

まあ普通に考えて 常識的に

常識的に考えて 処女懐胎？ ないよねたぶん

たぶん そうだよね 嘘

や嘘 ていうか うん なんか

男2 あれ 処女懐胎のほう都合 いいんじゃないの

男1 お前さ 引つ掻き回すだけなら帰れよ

男2 や 彼女の代弁者なんで僕

男1 お前が引つ掻き回したら

言いたいこと言えないんじゃないの

男2 (女1に) そんなことないでしょ

女1 うん

まあ うん

男2 ほら

男1 ほらじゃないよ

男2 そんなこと言って敵 減らしたいだけでしょ

つまり本当にやっちゃってる てことでしょ

男1 ちょっと君 こっちきて

男1は男2を連れてどこかへいく。

しばらくの後、男2の苦悶の叫びが聞こえる。

女1 まり子ちゃんは でもそう言ったんですよ

女2 なにが

女1  
してないて

女2  
だからなに

女1  
だから どうしてまり子ちゃん

信じてあげ ないのか

女2  
あなたは 信じられるの

誰ともやってないて

勝手にできたて

女1  
信じられるか じゃなくて

信じてあげ られるか じゃないんですか

女2  
なにそれ 良い子ぶりたいだけでしょ あんた

関係ないからそう やって言えるんですよ

あんたなんて まり子となんの関係もないくせに

女1  
関係なくない です 友達 です

女2  
友達だったらなに

女1  
友達だから わかってあげたくて

女2  
綺麗事 ばっかじゃん

わかってあげたいとか馬鹿 じゃん

わかんないでしょ 普通

やってない てんなわけじゃないじゃん

信じられるわけない　じゃんそんなの

なのにまり子　なんて言うと思う　なのにまり子

産みたい　て

悩んだけど産みたい　て

一緒にこの子の親になってほしい　て

ありえないでしょ　そんなの

女1  
相談　私も　されてまり子ちゃんに

まり子ちゃんも　悩んで　て

子どものことも　あなたとのことも

女2  
悩めば良いじゃん　勝手に　どっかの男と

勝手に子供　作つたみたいに

私　知らないし　巻き込むなよ

裏切り者と　私は関わりたくない

男3が現れる。

男3

あの

男3

こんにちは いきなり割って入ってごめんね

聞きたいことがあるんだけど いいかな

男3

あ お前誰だよ て思ってるでしょ 思ってますよね

でも言わせてもらいますけど お前こそ誰だよ なんで

こっちからするとね まあだからつまりはね

お知り合いになりたいよね ていうね

僕ね ずっといたんだけどねそこに 気付いてた？

話 たまたま耳に入っちゃってね

話 聞かせてもらってたんだけど

まり子ちゃん 妊娠したまり子ちゃん と言ってたよね

女2

え はい

男3

大友まり子 ちゃんだよね その子

女1

え なんで そうですけど

男3 や 大友まり子 ちゃん有名人だから さ

男1と男2が帰ってくる。

女2 なんで 全然話見えないんですけど

男3 あ 読まないか 君くらいの歳の子 週刊誌

週刊誌デビュー まり子ちゃん してるんだよ

女2 は え なんですかそれ

男3 処女懐胎再び 現代の聖母マリア現る

女2 は え 本当 ですかそれ

男3 うん

女2 や 流石にないでしょ それは

女1 や 本当 ですよこれ

女2 は え 知ってるの？

え なんで え なんて書いてあるんですか

男3 ある女性が処女懐胎した ということ

その人がどういう人か ということ

修憐会がその人を団体の新しい象徴にした ということ

女2 え 全然わかんない え しゅう なんて

男2

修憐会　て　キリスト系の団体

なんかよくデモとかやってるところですよ

男3

そういうイメージなんだ

まあそうだね　デモとかもやってる

女2

え　象徴　てなんですか

男3

修憐会　て教祖が死んじゃってね

知らない？　教祖

なんか超能力？　海割れるとか言っ

ても疑われちゃって　証明する　ていうんで

カメラの前で　ライブ中継で　日本海　パカー割ってね

北朝鮮まで海割れて　で横断する　とか言っ

て北朝鮮　キリスト教徒　少なくないらしくて

それ系の信者がそのとき　ぐわーって渡ってきて

信者拡大　みたいになったんだけど棚ぼた的に

でもカメラの前で　緊張しちゃったのかな

横断の途中で　割れた海が戻ってきちゃって

それで教祖　溺れて死んじゃった　ていうね

ていう事件で修憐会　有名なんだけど

|          |         |               |           |               |               |                       |               |              |             |                        |                  |                    |                   |                         |              |
|----------|---------|---------------|-----------|---------------|---------------|-----------------------|---------------|--------------|-------------|------------------------|------------------|--------------------|-------------------|-------------------------|--------------|
| 男3       | 女1      |               | 女2        | 男3            | 男1            |                       | 男3            |              | 女2          |                        | 男3               | 女2                 |                   |                         |              |
| 本当でしょ 多分 | 本当なの これ | どうせデマ でしょそんなの | 週刊誌 なんでしょ | うん そうらしいけど週刊誌 | え 検査 それマジですか？ | 遺伝子調べて分かったんでしょ 父親いないの | え でも検査 したんでしょ | 処女で妊娠 とか嘘ですよ | は 信じないでしょ普通 | まああまり子ちゃん というよりはその子どもか | それに大友まり子ちゃんが選ばれて | なんだろう神様の代わり みたいなやつ | 代表みたいなのはいるんだけど 象徴 | うん それで それから教祖の代わり じゃなくて | あ あの溺れた教祖のやつ |

修憐会 組織ぐるみで動いてるし

北朝鮮からの難民でね 増えちゃったからね信者

新しい象徴 欲しいんでしょ いまこそ

男 1  
あ 検査 そうなんだ

あ そっか よかった

男 2  
その反応 やっぱやってたんだ

男 1  
あ ヤ チ 違う

男 3  
僕はね 作家なんですよ

演劇とかのね 脚本とか 書いたりするんだけど

大友まり子 ちゃんのこと面白いな て思ってたさ

これ作品にしたいくて さ 取材したくて さ

会えないかな 大友まり子 ここ来るんだよね

会いたい んだけど さ

女 2  
嘘でしょ ありえない

でっち上げ でしょありえない

女 1  
間違いない て お医者さん

女 2  
じゃあそいつが嘘 ついてんだろ

だってそんなの ありえない

女 1  
まだ 分かんない？

女2  
はなに

女1  
そういうことじゃないのて

男2  
監禁

女1  
そのことはいいから

女2  
え

男1  
え

男2  
あそう

女2  
なにそれ

男2  
あごめん

や  
監禁されたて

男1  
え  
どういう

男2  
監禁されて  
まり子ちゃん  
その宗教の  
に

男1  
やえ  
マジ？  
それ

女1  
病院で結果が出てから  
三十分くらいして

十人くらい  
押し寄せてきて  
書類  
持って

入院するまで  
書くまで部屋から出さない  
みたいな

夜までずっと  
でもなんとか粘って逃げて

私その場にいたんですけど  
でも何もできなくて

男2  
調べたらね  
その病院  
経営？  
が修隣会で

やばいよね 従う まで出さない みたいな

あるんだ こういうこと というね

女2

え ごめんなんなの

いろいろ信じられないんだけどさ とりあえず

その話は なに同情しろ てこと？

嘘 吐いた自分が悪いんじゃないの

自己責任 でしょそれ

同情 できないでしょそれ

女2

ていうか何コレ どいつもこいつも

あの子のことホント 信じてるの？

虚言癖でしょ 医者が認めたから何

宗教？ なら病院も医者も 頭おかしいんですよ

女2

え 私がおかしいの？ 違うでしょ

子供でき ちゃいました でも男とは

やってませんよ とか言われても

信じられないでしょ 信じない 私が変なの

何なのコレ 何かもう

頭痛いんだ けど

男3

じゃあさ 誰が言った何なら正しい のかね

|                                                                                                                                                                                   |                                |                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>女2</p> <p>神が言ったことなら正しいのかね</p> <p>信じてもいいけど 神なら 本物 いるなら</p> <p>でもそんなのいたら苦労しないでしょ</p> <p>いないから苦労 してるんでしょ</p> <p>男3</p> <p>神 いるけどね うん</p> <p>ていうか僕が神 なんだけどね</p> <p>女2</p> <p>え</p> | <p>9.</p> <p>聖母まり子と神（ではない）</p> | <p>男3</p> <p>うん 神 僕 なんだよ</p> <p>神である僕 が言うんだからさ 信じてほしいな</p> <p>男1</p> <p>え すみません なにを言ってるんですか</p> <p>え それマジで言ってるやつですか</p> <p>男3</p> <p>あ 痛い人だと思ってる？ 違うよ</p> <p>よくあるイメージじゃないと信じられない？</p> <p>じゃあちょっと待ってて</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

すると男3の口周りからはいつのまにか豊かな白  
髭が生え、また荘厳な風な杖がどこからともなく  
その手の内に表れ、気がつけば男3は神だ。

男1  
うわ 神だ

女2  
え 神じゃん

男3  
うん そうなんだよ

僕 神 なんだよね

男2  
いやいやいや！

え 違うでしょ 神じゃないでしょ

女1  
か 神様？

男2  
えー

男1  
え あの お金持ちにしてください

女2  
え ズル 私もなんか

男3  
日本人はさ 何かにつけて願い事 するよね

僕はそういう存在じゃないんだけど

男1  
あ そうなんですか

男3  
うん

だって僕が君たち 作ったんだよ

だから例えばそう 絵とか描いて

その絵に願いたい事 されたとして

それは願いたい事 されたんじゃないくて

される絵 君が描いただけでしょ ていう

つまり最初から全部決まってるよね ていう

女1  
それじゃああなたは

男3  
なに

女1  
どうして ここに来られたんですか

男3  
被造物にはわからないよ 創造主の意思

というのは言っても仕方がないから

わかりやすい理由 あげようか ほら

いま 自分たちが海の上にいるの 気がついてる？

自分たちが海の上にいることに今更気がつく男2  
と男3以外。

男3  
ほら海の方こうから 渡ってくるでしょ命

海から命 たくさんほら

海の方から命のようなものが渡ってくる。

男3

ほら 見えるでしょ 生まれてるでしょ

ていうか僕が作ってるんだけど

ほとんど溺れ沈んでゆくが、ひとつだけ生き残り  
燦然と輝く命のようなものがある。それが大友ま  
り子の子なのかもしれない。し、そうではないの  
かもしれない。

男3

でまあほら 死んだりもするけど

選ばれた命 だけが岸までたどり着いて

暮らすことができる この 国で 神の 国で

渡ってきたら 君たちも 神の子なんだよ中でも

まり子のお腹の子は特別 僕そのもの

僕 久々に 現世に降りたんだけど

体 ずいぶん古くなってね これ

生まれ直すんだ まり子から この体捨てて

だから 大友まり子 処女懐胎の 奇跡のまり子

会わないといけない 僕は

来るんだよね まり子 遅いけど

来るなら待つし 来ないなら

どこにいるのかな まり子は

え なんで

うん なに？

や なんで

え なに なんか不満あるの？

神だよ僕 神に不満 あるの君

や その上手く 言えないんですけど

なんでそんな不満そうな顔をするの？

や その

女1は神に近づいていく。

男3

え なに

女1は神に近づいていく。

男  
3

え なんなの

女1は神を殴る。

男  
3

痛い

女1は何度も神を殴りつける。

男  
3

え 痛い 痛いんだけど え

女  
1

なんで 今更 邪魔するんですか なんで

神様とか詳しくないけど 私全然知らないけど

上手く言えないけど 全然

思ってること一つも 上手く言えないけど 全然でも

あなたはずっと ずっと黙ってて 今更出てきてなんで

まり子ちゃん 幸せに生きてたのになんで

みんな 自分のことばっかでなんで

まり子ちゃんのこと 考えてあげてる人誰もいない 誰も

女  
2

なにそれ じゃああんたは違うの

理解者ぶって まり子の何も 知らないくせに

綺麗事じゃん そんなの偽善じゃん

女 1 分からない私も 偽善 かもしれないけど

まり子ちゃんのお腹の子は 変だ て

変だ て言われて お医者さんに

男 3 まあ神の子だからね

女 1 障害があるんだ てお医者さんに

男 3 あれ え そうなの

女 2 は？ は？ は？

笑える 浮気したからでしょ 嘘ついたからでしょ

天罰でしょ 浮気するような悪い女だから

だから悪い子供 できたんでしょ

男 3 いや浮気じゃなくて処女懐胎だって

あと僕神だけど天罰とかやってないから

女 1 そんなのどっちでもいい

でもまり子ちゃんは 産みたい て言ったのその子を

女 2 いや産むなよ

産んでどうすんだそんな子 そんな悪い子

降ろせよ とつとつ そんな悪い子

女 1 まり子ちゃんのこと 好きだったんですよ

女  
2

だから何 もう関係ないでしょ

女  
1

降ろせよ悪い子 降ろせよ 降ろせよ

女  
1

降ろすんだって まり子ちゃん その子のこと

女  
2

え

女  
1

降ろすの 子供 産みたいって言ってたけど

でもまり子ちゃん 産めないよね て

自分にはお金もないし 頭も良くないから て

それに なによりも あなたと別れることになるなら

好きな人と一緒にいられないなら意味ない て

降ろして 謝って

また一緒に暮らしたい て あなたと

あなたが好きだから て 今日降ろしてから来る て

男の人としてないの 証明するから て

だから彼を呼んで ちゃんと謝 て

自分も混乱して て

ちゃんと説明できなかったから て

傷つけちゃったから て あなたのこと

だから謝 て 何回も謝 て

許されな いかもしれないけど

もし許しても らえたら

そしたらもう一度 叶うならもう一度

一緒にいさせてほしい て 言って

女 1  
ごめんなさい

女 1は席を立つ。その後、長い沈黙。

男 2  
(男 1に) 行ってやれよ

男 1  
なんで俺だよ お前だろ 彼氏だろ

男 2  
や なんかダメなんだよね空気こういう

何言えばいいかわかんないし

男 1  
や 俺だって でも行くならお前だろ

男 2  
(女 2に) お前だろって

言われてるよ 謝ってこい て

男 1  
いや言っていないから

女 2は返事をしない。

男 2  
あれ なに どしたの

|           |          |                    |             |      |                              |            |    |             |        |      |    |
|-----------|----------|--------------------|-------------|------|------------------------------|------------|----|-------------|--------|------|----|
|           |          |                    |             |      | 10.<br>聖母まり子と神（ではない）の子（ではない） |            |    |             |        |      |    |
| 男3        | 男2       | 女2                 | 女1          | 男1   |                              | 男2         | 女2 | 男2          | 女2     | 男2   | 女2 |
| え<br>神だよ？ | あ<br>確かに | ていうか 全部こいつが悪いんじゃない | うん<br>ありがとう | 大丈夫？ |                              | 女2は返事をしない。 |    |             |        |      |    |
| 女1が帰ってくる。 |          |                    |             |      |                              | 男2         | 女2 | 男2          | 女2     | 男2   | 女2 |
|           |          |                    |             |      |                              | どしたの       | 違う | や だって黙ってたから | なんでもない | どしたの | え  |

女2  
えでも別に願い

叶えたりしてくれるわけじゃないんですよ

男3  
え うん まあないやでも

女2  
じゃあやっぱこいつに

責任 とらせればいいんじゃないの

男3  
責任 て え なに

男2  
責任 てやっぱり お金とかじゃないですか

女2  
あ じゃあ堕ろすのにかかるお金 お前が出せよ

男3  
いや神だし お金とかちよつとよくわかんない

女2  
あと個人的に 私も一発殴りたい

男3  
え 嘘 やめて 痛いから 神だけど

え 嘘嘘ごめん ていうか嘘 嘘だからやめて

女2  
は なに今更 知らんし

男3  
いや嘘だから神とか 神じゃないです私

男1  
え どゆこと

男3  
いや ほら

男3は神ではなくなる。

女2 え ただの人だ！

男1 え 本当は神じゃなかったのか！

男2 いやいやいや

男3 関係ないんで自分 自分ただの作家なんで 演劇の

自分のこと 神とか思っちゃってすみません

取材したかっただけなんですみません

このお芝居 盛り上げたかっただけなんですみません

だからその殴るとか やめてそういうのは

男1 え (海から渡ってきたまり子の子を指して)

じゃあアレはなんなの

わからない それっぽいこと言ってみただけ

女2 ていうかじゃあここは 海じゃないならどこなの

男1 え ファミレスじゃないの

女2 え 私 喫茶店だと思ってた

男3 劇場の 舞台の上でしょ普通に

男2 おい そついうこと言うなよ

女1はまり子の子ではなかったものを指差す。

女1 まり子ちゃんの子

女2 だから違っつてなったじゃん今

女1 私が育てるの まり子ちゃんの子

男1 やえ

でもほら 堕ろすんでしょ

女1 そこにいるからまだ まり子ちゃんの子

私が育てる 誰も救ってあげられないなら

男1 どしたの 大丈夫？

や その つらいかもしれないけど でも

男3 それ適当言っただけだよ ゴミかなにかだよぎつと

女2 なんなの 頭おかしくなったのあんた

男2 だから そんな風に言わなくても でも

女1 どうして 信じるのは悪いことなの？

女1 でも だってそれは あんたの子 じゃないんだよ

男3 僕は 神 じゃないし

男1 それは まり子の子 じゃないから

男2 ていうかそれは 人 じゃないよ

女1 誰の子じゃなくても 人じゃなくても

黙って見てられない私は おかしいのかな

女2 知らないもう 私もう帰るよ

女1 まり子ちゃん この子に 墮す前に名前をつけて

私にだけ 教えてくれて

男1 まり子は？ 結局来るの？

女1 名前があるんだ この子には 名前が

女1はまり子の子ではなかったものに手を差し伸

べる、それは遠くにある、届かない。必死に手を

伸ばす。

女2 知らない 帰るよ私

男2 もう来ないんじゃない 流石に

男3 え それじゃあ僕 帰っていいですか

女1 あるんだ

男2 勝手にしなよ

女1 この子は

男3 え すみません

男3は帰る。

|   | 女<br>1 | 女<br>2 | 男<br>2 | 女<br>1 | 女<br>2 | 女<br>1 | 男<br>1        |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 幕 | 名前     | 帰るってば  | じゃあ帰れよ | この子の   | 帰るよ    | 名前が    | (女2に) え 帰んないの |